

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3158111号
(U3158111)

(45) 発行日 平成22年3月18日 (2010. 3. 18)

(24) 登録日 平成22年2月24日 (2010. 2. 24)

(51) Int. Cl.

G09F 17/00 (2006.01)

F 1

G09F 17/00

M

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2009-8506 (U2009-8506)
(22) 出願日 平成21年11月30日 (2009. 11. 30)(73) 実用新案権者 505089496
株式会社アルテックジャパンホールディングス
大阪府東大阪市長田東3丁目5番29号
(74) 代理人 100061745
弁理士 安田 敏雄
(74) 代理人 100120341
弁理士 安田 幹雄
(72) 考案者 松原 秀樹
大阪府東大阪市長田東3丁目5番29号
株式会社アルテックジャパンホールディングス内

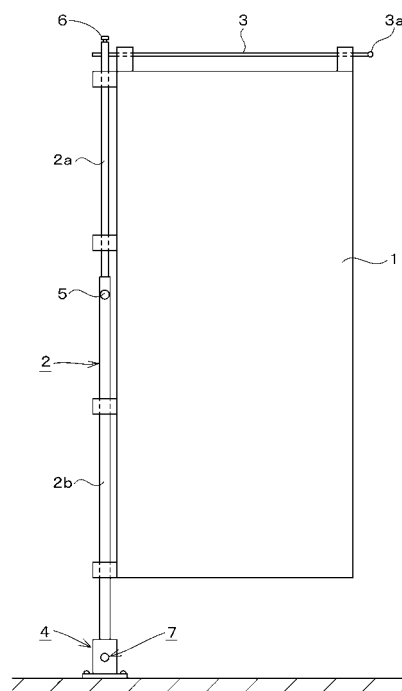
(54) 【考案の名称】 装飾用部材

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】様々なサイズの旗や幟等の掲揚物に簡単に対応可能とし、しかも、起立角度を簡単に変更調節し得る装飾用部材を提供する。

【解決手段】旗や幟等の掲揚物 1 の縦方向一側を挿通支持するための縦支柱 2 と、旗や幟等の掲揚物 1 の横方向上端を挿通支持するために縦支柱 2 の上端に支持された横杆 3 と、縦支柱 2 を起立状態に支持するための支持スタンド 4 とを備える。縦支柱 2 は、複数の支柱 2 a、2 b を長手方向に伸縮可能に嵌合して長さ調節手段 5 により縦方向の長さを調節可能としてある。横杆 3 は、縦支柱 2 の上端に突き出し長さ調節手段 6 を介して横方向への突き出し長さを調節可能に支持する。さらに、支持スタンド 4 は、縦支柱 2 の下端を支受して角度調節手段 7 により縦支柱 2 を直立姿勢と傾斜姿勢とに切り替え支持可能とする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

旗や幟等の掲揚物（１）の縦方向一側を挿通支持するための縦支柱（２）と、旗や幟等の掲揚物（１）の横方向上端を挿通支持するために縦支柱（２）の上端に支持された横杆（３）と、縦支柱（２）を起立状態に支持するための支持スタンド（４）とを備えており、

前記縦支柱（４）は、複数の支柱（２ a、２ b）を長手方向に伸縮可能に嵌合して長さ調節手段（５）により縦方向の長さを調節可能としてあると共に、前記横杆（３）は、縦支柱（２）の上端に突き出し長さ調節手段（６）を介して横方向への突き出し長さを調節可能に支持させてあり、さらに、前記支持スタンド（４）は、縦支柱（２）の下端を支受して角度調節手段（７）により縦支柱（２）を直立姿勢と傾斜姿勢とに切り替え支持可能としてあることを特徴とする装飾用部材。

10

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【０００１】**

本考案は、旗や幟等の掲揚物の掲揚に使用するための装飾用部材に関するものである。

【背景技術】**【０００２】**

一般に、百貨店、スーパーマーケット、各種商品の小売店、遊技施設、遊園施設、温泉旅館その他の店舗等においては、取り扱う商品・サービス・遊具・機器・設備等の種類や特長、その他、顧客にアピールしたい事項や情報を、旗や幟等の掲揚物に印刷等に表示して売り場等に掲揚されている。

20

これらのアピール事項や情報は、適宜、切り替えたり、表示方法を変更したりして常に新鮮さを失わないようにすることが顧客の注意力を喚起する上で有効とされている。

【０００３】

これらのアピール事項や情報を表示した旗や幟の掲揚手段として、従来、旗や幟の縦方向一側を挿通支持するための縦支柱と、旗や幟の横方向上端を挿通支持するために縦支柱の上端に支持された横杆と、縦支柱を起立状態に支持するための支持スタンドとを備えたものが公知である（例えば、特許文献１参照）。

【先行技術文献】

30

【特許文献】**【０００４】**

【特許文献１】特開平８－１９９８５３号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【０００５】**

前記アピール事項や情報は、様々であり、表示方法や掲揚方法も設置場所等に応じて適宜変更する事が要望されている。

しかしながら、従来のは、必ずしも、これらの要望を満たすものとなっていないものが多いのが実情であった。

40

本考案は、様々なサイズの旗や幟等の掲揚物に簡単に対応可能とし、しかも、起立角度を簡単に変更調節し得る装飾用部材を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】**【０００６】**

前記目的を達成するために本考案は、旗や幟等の掲揚物の縦方向一側を挿通支持するための縦支柱と、旗や幟等の掲揚物の横方向上端を挿通支持するために縦支柱の上端に支持された横杆と、縦支柱を起立状態に支持するための支持スタンドとを備えており、

前記縦支柱は、複数本の支柱を長手方向に伸縮可能に嵌合して長さ調節手段により縦方向の長さを調節可能としてあると共に、前記横杆は、縦支柱の上端に突き出し長さ調節手段を介して横方向への突き出し長さを調節可能に支持させてあり、さらに、前記支持スタ

50

ンドは、縦支柱の下端を支受して角度調節手段により縦支柱を直立姿勢と傾斜姿勢とに切り替え支持可能としてあることを特徴としている。

【考案の効果】

【0007】

本考案によれば、様々なサイズの旗や幟等の掲揚物に簡単に対応可能とし、しかも、起立角度を簡単に変更調節し得る装飾用部材を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】本考案に係る装飾用部材の実施形態例を示す全体の正面図である。

【図2】縦支柱の長さ調節手段の拡大縦断側面図である。

10

【図3】横杆の突き出し長さ調節手段の拡大縦断正面図である。

【図4】支持スタンドの角度調節手段の拡大縦断側面図である。

【図5】支持スタンドの角度調節手段の拡大縦断正面図である。

【考案を実施するための形態】

【0009】

以下、本考案に係る装飾用部材の実施形態を図面を参照しつつ説明する。

本考案の装飾用部材は、図1に示すように、旗や幟等の掲揚物1の縦方向一侧を挿通支持するための縦支柱2と、旗や幟等の掲揚物1の横方向上端を挿通支持するために縦支柱2の上端に支持された横杆3と、縦支柱2を起立状態に支持するための支持スタンド4とを備えている。

20

【0010】

縦支柱2は、複数本（図1は2本の場合を例示している）の支柱2a、2bを長手方向に伸縮可能に嵌合して長さ調節手段5により縦方向の長さを調節可能としてある。

支柱2a、2bは、本実施形態では、金属製丸パイプ材で構成した場合を例示しており、上側の支柱2aを下側の支柱2b内に摺動可能に嵌合させてある。

なお、支柱2a、2bの断面形状は、円形に制約されず、角形その他の断面形状であってもよく、支柱2a、2bの材質についても、金属製に制約されず、樹脂製であってもよい。

【0011】

長さ調節手段5は、図2に示すように、下側の支柱2bの上部側面に突設したネジ筒部5aと、このネジ筒部5aに螺合して上側の支柱2aを押圧固定する止めネジ5bとで構成してある。なお、長さ調節手段5は、この構成に制約されず、他の構成としてもよい。

30

横杆3は、縦支柱2の上端に突き出し長さ調節手段6を介して横方向への突き出し長さを調節可能に支持させてある。

【0012】

縦支柱2の上側の支柱2aの上端付近には、横方向に貫通する横穴2cが形成されており、この横穴2cに横杆3が摺動可能に挿通してある。

横杆3は、金属製で断面円形の丸棒材を使用しており、先端部に玉部3aが膨隆させて形成してある。なお、横杆3の断面形状は、円形に制約されず、角形その他の形状としてもよく、また、材質も金属製以外に、樹脂製としてもよい。

40

【0013】

突き出し長さ調節手段6は、図3に示すように、縦支柱2の上側の支柱2aの上端内面に形成した縦方向のネジ穴6aと、このネジ穴6aに螺合して横杆3を押圧固定する止めネジ6bとで構成してある。なお、突き出し長さ調節手段6は、この構成に制約されず、他の構成としてもよい。

支持スタンド4は、縦支柱2の下端を支受して角度調節手段7により縦支柱2を直立姿勢と傾斜姿勢とに切り替え支持可能としてある。

【0014】

支持スタンド4は、図4、図5に示すように、平面視で長方形の取付基板4aと、この取付基板4aの中央部に立設固着された平面視で長方形筒状の支持筒部4bとで構成し

50

であり、これらはいずれも金属製としてある。

角度調節手段 7 は、図 4、図 5 に示すように、支持筒部 4 b の底部中央に形成した凹部 7 a と、支持筒部 4 b の長辺側の側面両側に形成してある縦方向に長い長孔 7 b と、縦支柱 2 の下側の支柱 2 b の下端付近に横方向へ貫通させて形成してある横穴 7 c と、前記長孔 7 b と横穴 7 c とに挿通したネジ杆 7 d と蝶ナット 7 e とで構成してある。

【 0 0 1 5 】

支持筒部 4 b の底部中央に形成した凹部 7 a は、縦支柱 2 の下側の支柱 2 b の下端を嵌合するために、該支柱 2 b の下端と同一の断面形状（円形）としてある。

角度調節手段 7 は、蝶ナット 7 e を緩めて縦支柱 2 の下端を凹部 7 a に嵌め込み、この状態で蝶ナット 7 e を締め付けることにより、縦支柱 2 を直立姿勢に保持させることができる。

10

【 0 0 1 6 】

また、蝶ナット 7 e を緩めて縦支柱 2 の下端を凹部 7 a から上側に出し、長孔 7 b 内でネジ杆 7 d を中心として縦支柱 2 を回動させて支持筒部 4 b の一側上縁に当接させ、この状態で蝶ナット 7 e を締め付けることにより、縦支柱 2 を傾斜姿勢に保持させることができる。

本考案に係る装飾用部材の実施形態の構成は以上からなり、次に、その使用例を説明する。

【 0 0 1 7 】

縦支柱 2 は、例えば、630～1100mm の範囲で長さの調節が可能とされ、横杆 3 は、例えば、0～500mm の範囲で突き出し長さの調節が可能とされている場合、旗や幟等の掲揚物 1 は、横幅 $W = 200 \sim 400$ mm、縦長さ $H = 500 \sim 1000$ mm の範囲で様々なサイズのものに適用することができる。

20

支持スタンド 4 は、取付基板 4 a を取付場所の適当な部材にビス 4 c で固定する。縦支柱 2 の長さ及び横杆 3 の突き出し長さは、対象となる旗や幟等の掲揚物 1 のサイズに適合するように夫々の調節手段 5、6 で調節する。また、縦支柱 2 の角度は、天井の高さや設置場所の状況に応じて角度調節手段 7 により適宜選択して直立姿勢や傾斜姿勢にして使用する。縦支柱 2 の傾斜角度は、本実施形態では、75° に設定してあるが、これに制約されるものではない。

【 0 0 1 8 】

30

本考案の装飾用部材は、以上の実施形態からなるが、本考案は、上記の実施形態にのみ制約されるものではなく、登録請求の範囲内において、適宜、変更して実施することができる。例えば、角度調節手段 7 は、縦支柱 2 の傾斜角度を段階的に複数段（例：45°、60°、75°等）に、或いは、無段階に変更調節できるようにして実施してもよい。また、縦支柱 2 は 2 段伸縮式とした場合を例示しているが、3 段以上にしてもよい。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 1 9 】

本考案は、旗や幟等の掲揚物を掲揚する装飾用部材の製造・販売・使用などに広く利用される。

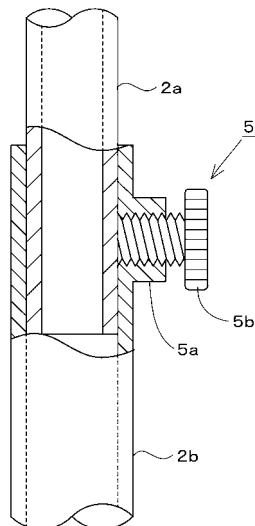
40

【符号の説明】

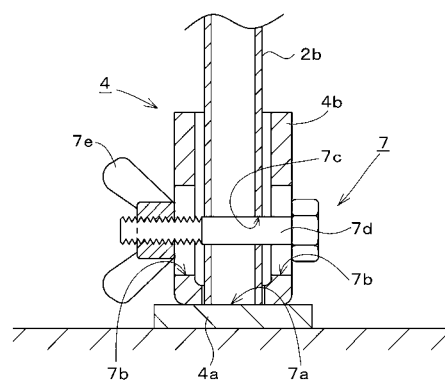
【 0 0 2 0 】

- 1 旗や幟等の掲揚物
- 2 縦支柱
- 3 横杆
- 4 支持スタンド
- 5 長さ調節手段
- 6 突き出し長さ調節手段
- 7 角度調節手段

【圖 2】



【 図 4 】



【手続補正書】

【提出日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

旗や幟等の掲揚物(1)の縦方向一側を挿通支持するための縦支柱(2)と、旗や幟等の掲揚物(1)の横方向上端を挿通支持するために縦支柱(2)の上端に支持された横杆(3)と、縦支柱(2)を起立状態に支持するための支持スタンド(4)とを備えており

、

前記縦支柱(2)は、複数の支柱(2a、2b)を長手方向に伸縮可能に嵌合して長さ調節手段(5)により縦方向の長さを調節可能としてあると共に、前記横杆(3)は、縦支柱(2)の上端に突き出し長さ調節手段(6)を介して横方向への突き出し長さを調節可能に支持させてあり、さらに、前記支持スタンド(4)は、縦支柱(2)の下端を支受して角度調節手段(7)により縦支柱(2)を直立姿勢と傾斜姿勢とに切り替え支持可能としてあることを特徴とする装飾用部材。